

2013年3月期 第3四半期 決算説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 …P. 2
- 2) 売上高の変動要因 …P. 3
- 3) 営業利益の変動要因 …P. 4

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 …P. 5
- 2) 設備投資他 …P. 12
- 3) 損益計算書・包括利益計算書 …P. 13

3 2013年3月期 業績予想

- 1) 2013年3月期 業績予想 …P. 14
- 2) セグメント別売上高・営業利益 …P. 15
- 3) 四半期毎のセグメント別売上高 …P. 16
- 4) 四半期毎の営業利益 …P. 17

4 その他の情報

- 1) トピックス …P. 18



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、

事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

1

連結業績の概要

連結業績概要 前年同期比

GLORY

売上高

M & Aによる海外市場の拡大、並びに国内市場の販売が堅調に推移したことにより、前年同期に比べ増加。

利益

M & Aをはじめとする売上高の増加に加え、海外生産・海外調達等のコストダウン施策を展開した結果、前年同期に比べ増加。

(百万円)	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	103,579	126,974	+22.6%
うち 保守売上高	25,235 (24.4%)	35,575 (28.0%)	+41.0%
営業利益	7,320 (7.1%)	8,571 (6.8%)	+17.1%
経常利益	7,706 (7.4%)	9,208 (7.3%)	+19.5%
四半期純利益	3,646 (3.5%)	4,971 (3.9%)	+36.3%

※為替レート [ドル]80円 [ユーロ]100円

2

2013年3月期 第3四半期累計期間の「連結業績」について

当第3四半期は前年同期と比べ増収増益。

〔売上高〕

前年同期比プラス22.6%の1,269億7,400万円。

タリス社買収による業績への寄与はじめ、遊技市場を除く国内セグメントが堅調に推移。

〔利益〕

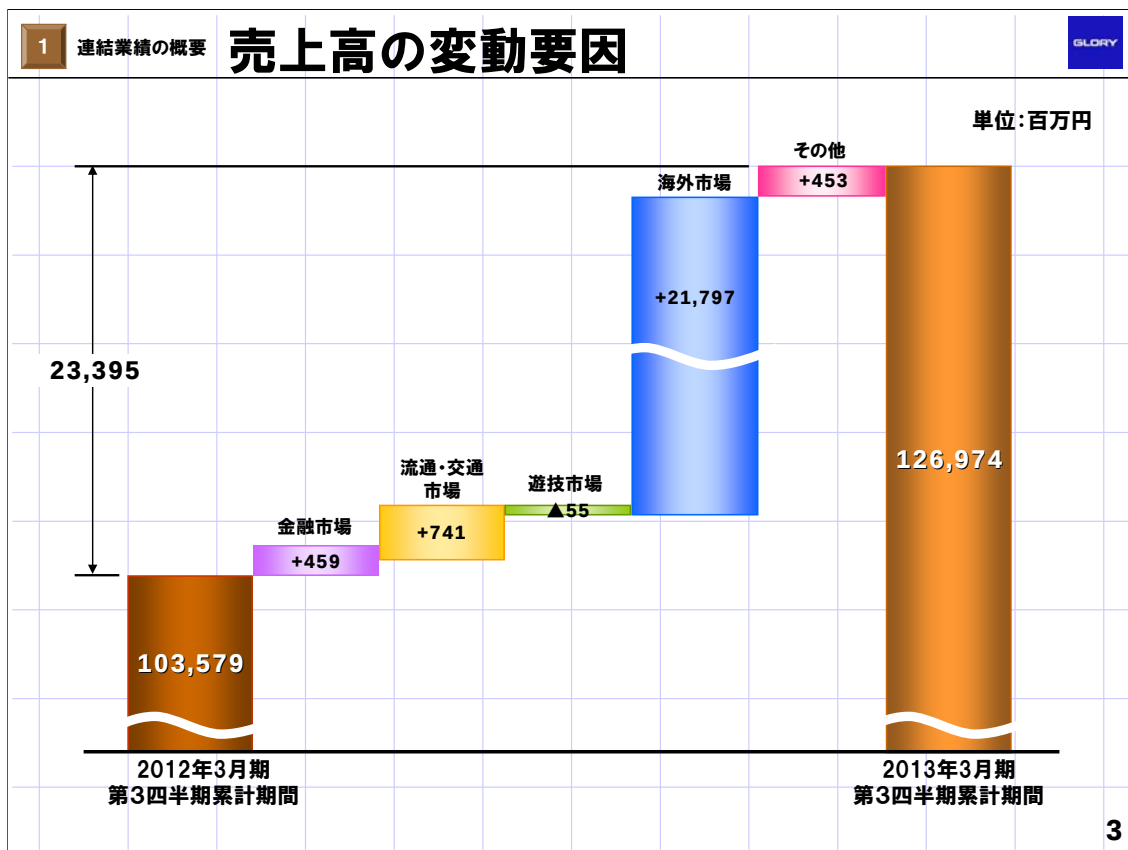
営業利益は、タリス社買収による売上高の増加をはじめ

海外生産調達等のコストダウン活動の効果により、

前年同期比プラス17.1%の85億7,100万円。

経常利益は、前年同期比プラス19.5%の92億800万円。

四半期純利益は、前年同期比プラス36.3%の49億7,100万円。



前期と当期の「セグメント別売上高の変動要因」について

当第3四半期は前年同期比233億9,500万円の増収。

[売上高減少セグメント]

遊技市場・・・前年同期比マイナス5,500万円。

[売上高増加セグメント]

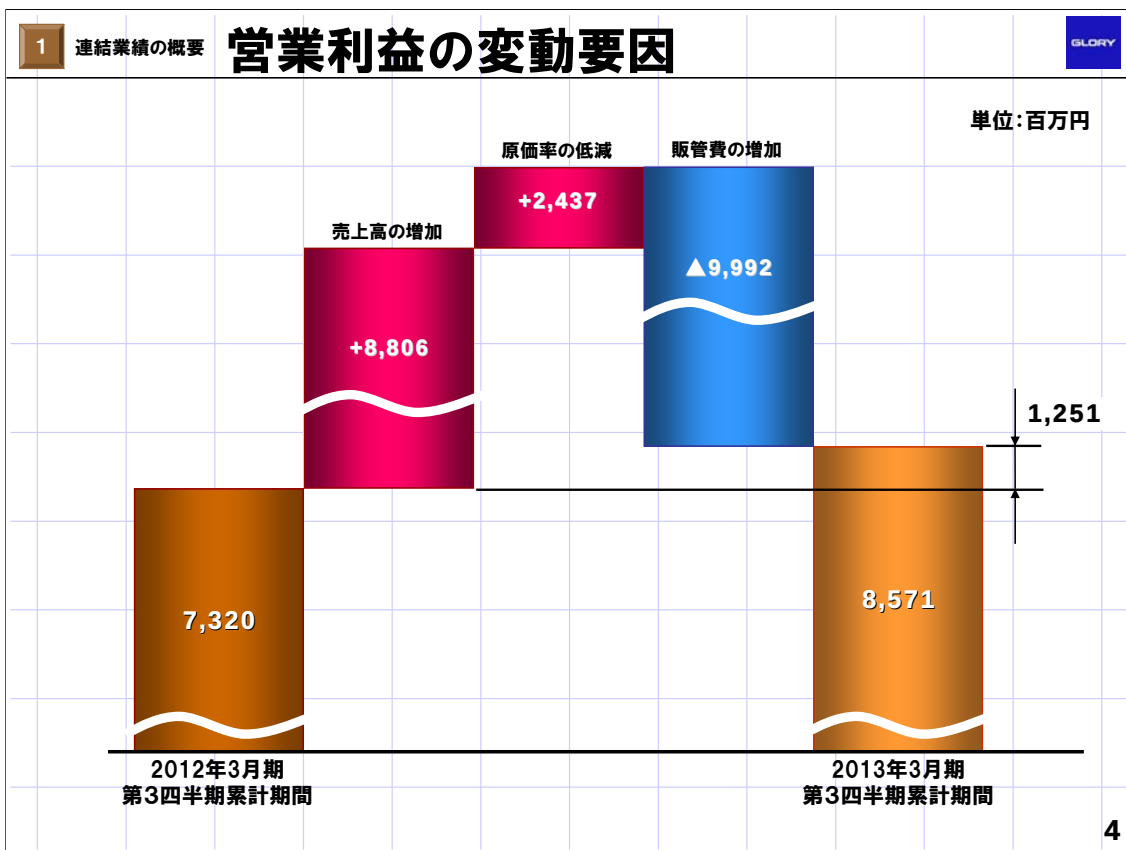
金融市場・・・前年同期比プラス4億5,900万円。

流通・交通市場・・・前年同期比プラス7億4,100万円。

海外市場・・・前年同期比プラス217億9,700万円。

その他・・・前年同期比プラス4億5,300万円

第2四半期累計期間から、金融市場が持ち直し、遊技市場が減速。



前期と当期の「営業利益の変動要因」について

当第3四半期は前年同期比12億5,100万円の増益。

[主な増加要因]

売上高の増加による影響が88億600万円。

原価率ダウンによる効果が24億3,700万円。

[主な減益要因]

販管費増加による影響99億9,200万円。

販管費増加の主な要因は、タラリス社の連結会計への組入れによるもの。

セグメント別売上高・営業利益 前年同期比

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
 金融市場	29,879	30,338	+459 (+1.5%)	2,011	2,450	+439 (+21.8%)
 流通・交通市場	19,988	20,729	+741 (+3.7%)	2,493	2,186	▲307 (▲12.3%)
 遊技市場	19,791	19,736	▲55 (▲0.3%)	1,468	1,491	+23 (+1.6%)
 海外市場	23,510	45,307	+21,797 (+92.7%)	1,537	2,355	+818 (+53.2%)
 その他	10,409	10,862	+453 (+4.4%)	▲189	88	+277 (- %)
合 計	103,579	126,974	+23,395 (+22.6%)	7,320	8,571	+1,251 (+17.1%)

「セグメント別の業績」について

[セグメント別売上高]

遊技市場以外のセグメントは、前年同期比プラスで推移。

[セグメント別営業利益]

流通・交通市場のみ前年同期比マイナスで推移。

2

連結業績の詳細

金融市場

GLORY

●主要製品の更新が堅調

主要製品であるオープン出納システムの販売は、中小規模店舗向けのコンパクトタイプが順調に推移。窓口用紙幣・硬貨入出金機や多能式紙幣両替機の販売も、更新需要を捉え順調に推移。市場全体としては前年同期並みで推移。

セグメントの概要

国内の金融機関、日本郵政、OEM先等への販売・保守

主要製品

コンパクト
オープン出納システム
WAVE Cシリーズ

窓口用紙幣・硬貨
入出金機
RBシリーズ

多能式紙幣両替機
ENシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	29,879	30,338	+459 (+1.5%)
構成比率	28.8%	23.9%	▲4.9%
営業利益	2,011	2,450	+439 (+21.8%)
構成比率	27.5%	28.6%	+1.1%
営業利益率	6.7%	8.1%	+1.4%

6

6

「金融市場」について

〔販売動向〕

主要製品であるオープン出納システムは、コンパクトタイプが堅調、従来タイプは低調に推移。

また、窓口用紙幣・硬貨入出金機や新製品の多能式紙幣両替機は更新需要を確実に捉え順調に推移。

市場全体としては前年同期並み。

〔売上高〕

前年同期比プラス1.5%の億303億3,800万円。

〔営業利益〕

前年同期比プラス21.8%の24億5,000万円。

2

連結業績の詳細

流通・交通市場

GLORY

●レジつり銭機の販売が好調

警備輸送市場向け売上金入金機や店舗入出金機の販売は好調に推移。

主要製品であるレジつり銭機の販売は大口需要の減少により低調。

市場全体としては前年同期並みで推移。

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社等への販売・保守

主要製品

レジつり銭機
RT/RADシリーズ

売上金入金機
DS・DSSシリーズ

現金入出金機
DSRシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	19,988	20,729	+741 (+3.7%)
構成比率	19.3%	16.3%	▲3.0%
営業利益	2,493	2,186	▲307 (▲12.3%)
構成比率	34.1%	25.5%	▲8.6%
営業利益率	12.5%	10.5%	▲2.0%

7

7

「流通・交通市場」について

〔販売動向〕

警備輸送市場向けの売上金入金機や店舗入出金機の販売は順調に推移。
主要製品であるレジつり銭機は、大口需要の減少により低調に推移。
市場全体としては前年同期並み。

〔売上高〕

前年同期比プラス3.7%の207億2,900万円。

〔営業利益〕

前年同期比マイナス12.3%の21億8,600万円。

2	連結業績の詳細	遊技市場	GLORY
●カードシステムの販売が好調 主要製品であるカードシステム等の販売は堅調に推移。会員管理システムの販売が低調であり、市場全体としては前年同期並みで推移。			
セグメントの概要			
国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守			
主要製品			
カードシステム  管理ターミナル カードユニット カード精算機  景品保管機 JKシリーズ			
(単位:百万円)			
売上高	2012年3月期 第3四半期 累計期間 19,791	2013年3月期 第3四半期 累計期間 19,736	前年同期比 ▲55 (▲0.3%)
			▲3.6%
営業利益	1,468	1,491	+23 (+1.6%)
			▲2.7%
営業利益率	7.4%	7.6%	+0.2%

「遊技市場」について

〔販売動向〕

主要製品のカードシステム等の販売は、新製品の投入効果もあり堅調に推移。会員管理システムは低調であり、市場全体としては前期並み。

〔売上高〕

前年同期比マイナス0.3%の197億3,600万円。

〔営業利益〕

前年同期比プラス1.6%の14億9,100万円。

2

連結業績の詳細

海外市場

GLORY

●主要製品の販売が好調

紙幣入金整理機や新製品である窓口用紙幣入出金機の販売が好調に推移。

Talaris Topco Limitedの買収により、前年同期に比べ、収益が拡大。

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先等への販売・保守

主要製品

窓口用
紙幣入出金機
RBGシリーズ

紙幣入金整理機
UW・USFシリーズ

ATM用
紙幣入金ユニット
UDシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	23,510	45,307	+21,797 (+92.7%)
構成比率	22.7%	35.7%	+13.0%
営業利益	1,537	2,355	+818 (+53.2%)
構成比率	21.0%	27.5%	+6.5%
営業利益率	6.5%	5.2%	▲1.3%

9

9

「海外市場」について

〔販売動向〕

紙幣入金整理機や窓口用紙幣入出金機は好調に推移。
また、タラリス社の買収により収益が拡大。

〔売上高〕

前年同期比プラス92.7%の453億700万円。

〔営業利益〕

前年同期比プラス53.2%の23億5,500万円。

地域別売上高

(単位:百万円)

海外 地域別売上高	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	差異
米 州	6,060	15,188	+9,128
欧 州	12,050	21,884	+9,834
アジア	5,399	8,234	+2,835
内 中 国	1,950	2,608	+658
合 計	23,510	45,307	+21,797
内 OEM	7,722	8,585	+863

海外の「地域別売上高」について

〔米州〕

グローリーの直販が堅調。タラリス社の買収効果により、
前年同期比プラス150.6%の151億8,800万円で推移。

〔欧州〕

グローリーの直販は低調。タラリス社の買収効果により、
前年同期比プラス81.6%の218億8,400万円で推移。

〔アジア〕

グローリーの直販、OEMとも堅調。タラリス社の買収効果も加わり、
前年同期比プラス52.5%の82億3,400万円で推移。

2

連結業績の詳細

その他

GLORY

●主要製品の販売が好調

券売機や病院向け機器等の販売が順調に推移。

セグメントの概要

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業等への販売・保守

主要製品

印刷式同時券売機
VTシリーズ

診療費支払機
FHPシリーズ

たばこ販売機
TSUシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	10,409	10,862	+453 (+4.4%)
構成比率	10.0%	8.6%	▲1.4%
営業利益	▲189	88	+277 (- %)
構成比率	—	1.0%	—
営業利益率	—	0.8%	—

11

11

「その他」について

券売機や病院向け機器等の販売が順調に推移。

〔売上高〕

前年同期比プラス4.4%の108億6,200万円。

〔営業利益〕

8,800万円(前年同期は1億8,900万円の営業損失)。

設備投資他

(単位:百万円)

	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比	四半期毎の推移												
設備投資額	4,545	5,829	+1,284 (+28.3%)	<table><tr><td>FY11 (2Q)</td><td>FY11 (3Q)</td><td>FY11 (4Q)</td><td>FY12 (1Q)</td><td>FY12 (2Q)</td><td>FY12 (3Q)</td></tr><tr><td>1,947</td><td>1,411</td><td>2,163</td><td>1,861</td><td>2,496</td><td>1,472</td></tr></table>	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	FY11 (4Q)	FY12 (1Q)	FY12 (2Q)	FY12 (3Q)	1,947	1,411	2,163	1,861	2,496	1,472
FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	FY11 (4Q)	FY12 (1Q)	FY12 (2Q)	FY12 (3Q)											
1,947	1,411	2,163	1,861	2,496	1,472											
減価償却費	5,021	6,339	+1,318 (+26.2%)	<table><tr><td>FY11 (2Q)</td><td>FY11 (3Q)</td><td>FY11 (4Q)</td><td>FY12 (1Q)</td><td>FY12 (2Q)</td><td>FY12 (3Q)</td></tr><tr><td>1,681</td><td>1,785</td><td>1,821</td><td>1,532</td><td>2,292</td><td>2,515</td></tr></table>	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	FY11 (4Q)	FY12 (1Q)	FY12 (2Q)	FY12 (3Q)	1,681	1,785	1,821	1,532	2,292	2,515
FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	FY11 (4Q)	FY12 (1Q)	FY12 (2Q)	FY12 (3Q)											
1,681	1,785	1,821	1,532	2,292	2,515											
研究開発 投資額	7,503	8,333	+830 (+11.1%)	<table><tr><td>FY11 (2Q)</td><td>FY11 (3Q)</td><td>FY11 (4Q)</td><td>FY12 (1Q)</td><td>FY12 (2Q)</td><td>FY12 (3Q)</td></tr><tr><td>2,733</td><td>2,416</td><td>2,431</td><td>2,521</td><td>3,002</td><td>2,810</td></tr></table>	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	FY11 (4Q)	FY12 (1Q)	FY12 (2Q)	FY12 (3Q)	2,733	2,416	2,431	2,521	3,002	2,810
FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	FY11 (4Q)	FY12 (1Q)	FY12 (2Q)	FY12 (3Q)											
2,733	2,416	2,431	2,521	3,002	2,810											

「設備投資など」について

設備投資額は、58億2,900万円、
 減価償却費は、63億3,900万円、
 研究開発投資額は、83億3,300万円で推移。

損益計算書・包括利益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2012年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	2013年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	増 減
売上高	103,579	100.0	126,974	100.0	+23,395
売上原価	64,592	62.4	76,744	60.4	+12,152
販管費	31,666	30.6	41,658	32.8	+9,992
営業利益	7,320	7.1	8,571	6.8	+1,251
営業外収益	821	0.8	1,633	1.3	+812
営業外費用	435	0.4	997	0.8	+562
経常利益	7,706	7.4	9,208	7.3	+1,502
特別利益	36	0.0	9	0.0	▲27
特別損失	356	0.3	249	0.2	▲107
税金等調整前 四半期純利益	7,386	7.1	8,968	7.1	+1,582
法人税等合計	3,740	3.6	3,996	3.1	+256
四半期純利益	3,646	3.5	4,971	3.9	+1,325
少数株主損益調整前 四半期純利益	3,983	3.8	5,287	4.2	+1,304
その他包括利益合計	▲368	▲0.4	7,315	5.8	+7,683
四半期包括利益	3,614	3.5	12,602	9.9	+8,988

① 営業外収益：為替差益(846百万円)などが発生。

営業外費用：ブリッジローン手数料(455百万円)、支払利息(432百万円)などが発生。

② 特別損失：固定資産除却損(127百万円)などが発生。

13

「連結損益計算書」について

〔営業利益〕

前年同期比プラス17.1%の85億7,100万円。

原価率は前年同期比マイナス2.0%、

販管費率は前年同期比プラス2.2%で推移。

〔経常利益〕

前年同期比プラス19.5%の92億800万円。

営業外収益に、為替差益8億4,600万円、

営業外費用に、タリス社買収に関するブリッジローン手数料4億5,500万円、
支払利息4億3,200百万円を計上。

〔四半期純利益〕

前年同期比36.3%の49億7,100万円。

特別損益に、固定資産除却損1億2,700万円などを計上。

〔四半期包括利益〕

前年同期比プラス248.7%の126億200万円。

少数株主損益調整前四半期純利益52億8,700万円。

その他の包括利益73億1,500万円。

3	2013年3月期 業績予想	2013年3月期 業績予想		GLORY
売上高		M & Aによる海外市場の拡大、並びに国内市場の深掘りが進み、前年同期に比べ増加。		
利 益		M & Aをはじめとする売上高の増加をはじめ、コストダウン施策の展開等により、前年同期に比べ増加。		
(百万円)		2012年3月期 (平成24年3月期)	2013年3月期 (平成25年3月期)	前年同期比
売上高		146,937	185,000	+25.9%
うち 保守売上高		33,944 (23.1%)	46,500 (25.1%)	+37.0%
営業利益		11,274 (7.7%)	14,500 (7.8%)	+28.6%
経常利益		11,908 (8.1%)	13,500 (7.3%)	+13.4%
当期純利益		6,246 (4.3%)	7,500 (4.1%)	+20.1%
※為替レート [ドル]80円 [ユーロ]100円				14

「2012年3月期の業績予想」について

第1四半期の予想値から変更なし。

[売上高]1,850億円、

[営業利益]145億円、

[経常利益]135億円、

[当期純利益]75億円を予想。

3	2013年3月期 業績予想	セグメント別売上高・営業利益				GLORY	
(百万円)		2013年3月期(平成25年3月期)					
		上半期 実績		下半期 予想		通期 予想	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融市場		20,400	1,644	24,600	2,556	45,000	4,200
流通・交通市場		13,917	1,332	15,583	2,368	29,500	3,800 → 3,700
遊技市場		12,005	526	13,495	1,474	25,500	2,000
海外市場		25,393	1,148	44,607	3,352	70,000	4,500
その他		7,158	▲23	7,842	123	15,000	0 → 100
合 計		78,875	4,628	106,125	9,872	185,000	14,500

15

15

「セグメント別売上高・営業利益の予想」について

市場環境等を勘案しまして、前回公表値から営業利益を若干変更。

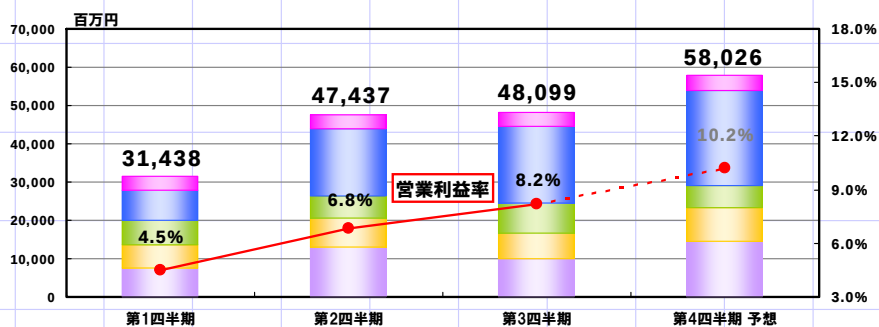
〔流通・交通市場〕

38億円から37億円に下方修正。

〔その他〕

プラスマイナス0円から1億円に上方修正。

四半期毎のセグメント別売上高



セグメント	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	年間 予想
金融市場	7,430(▲38)	12,970(1,682)	9,938(806)	14,662(1,750)	45,000(4,200)
流通・交通市場	6,341(728)	7,576(604)	6,812(854)	8,771(1,514)	29,500(3,700)
遊技市場	6,214(406)	5,791(120)	7,731(965)	5,764(509)	25,500(2,000)
海外市場	7,873(446)	17,520(702)	19,914(1,207)	24,693(2,145)	70,000(4,500)
その他	3,577(▲131)	3,581(108)	3,704(111)	4,138(12)	15,000(100)
合 計	31,438(1,411)	47,437(3,217)	48,099(3,943)	58,026(5,929)	185,000(14,500)

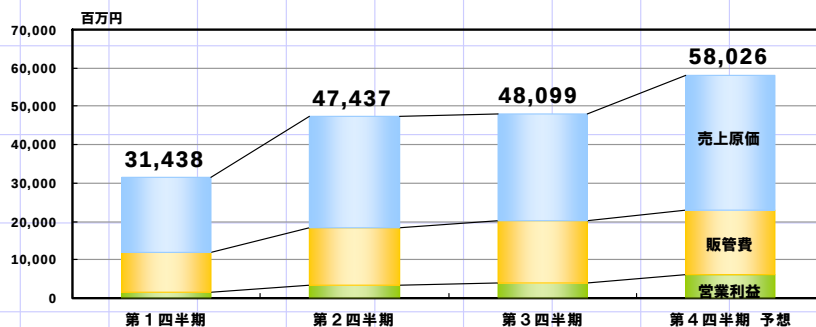
※右側の () は営業利益

16

「四半期毎のセグメント別売上高」について

第4四半期の売上高は、遊技市場を除き、各セグメントで今期最高となることを予想。

四半期毎の営業利益



2013年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	通期予想
売上高	31,438	47,437	48,099	58,026	185,000
売上原価 (売上高比率)	19,473 (61.9%)	29,200 (61.6%)	28,071 (58.4%)	34,956 (60.2%)	111,700 (60.4%)
販管費 (売上高比率)	10,552 (33.6%)	15,021 (31.7%)	16,085 (33.4%)	17,142 (29.5%)	58,800 (31.8%)
営業利益 (売上高比率)	1,411 (4.5%)	3,217 (6.8%)	3,943 (8.2%)	5,929 (10.2%)	14,500 (7.8%)

17

「四半期毎の売上原価、販管費、営業利益」について

今期も第4四半期に原価率の上昇や販管費の増加を予想。

〔売上高〕

前年同期比プラス33.8%の580億2,600万円。

〔原価率〕

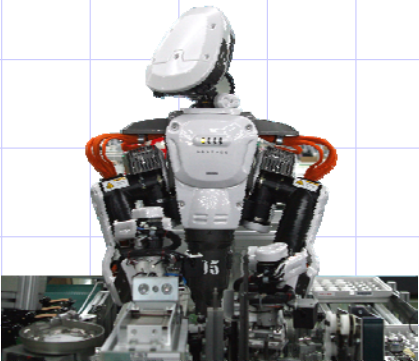
前年同期比4.6ポイントダウンの60.2%。

〔販管費率〕

前年同期比3.4ポイントアップの29.5%。

〔営業利益〕

前年同期比プラス49.9%の59億2,900万円。

4 その他の情報	トピックス	GLORY
ロボット大賞「次世代産業特別賞」受賞    		 受賞概要 経済産業省と日本機械工業連合会主催の「第5回ロボット大賞」に、川田工業株式会社と連名で応募。フレキシブルな自動組立ラインを実現するヒト型ロボット「NEXTAGE」が、83件の応募の中から「次世代産業特別賞」を受賞(2012年10月)。 導入目的 国内での低コストかつ高品質なものづくりの推進 NEXTAGEの特長 双腕と頭部のカメラをパッケージングしたことにより従来の産業用ロボットよりも柔軟性をもち、より人間に近い動きが可能。 現在、埼玉工場で11台が稼動。 18

「トピックス」

〔埼玉工場のロボット生産ライン〕

経済産業省と日本機械工業連合会主催の「第5回ロボット大賞」において「次世代産業特別賞」を受賞。

国内での低コストかつ高品質なものづくりの推進を目的に、埼玉工場に川田工業が開発したヒト型ロボット「NEXTAGE(ネクステージ)」を用いた生産ラインを構築。人と共存して「働くロボット」が稼動する次世代工場として注目を集める。